

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童デイサービス・アニマートすがも		
○保護者評価実施期間	令和7年 12月 1日		令和7年 12月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	23名	(回答者数) 19名
○従業者評価実施期間	令和7年 12月 1日		令和7年 12月 27日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数) 5名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 2月 20日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	事業所の広いスペースを活かした支援ができること	療育時間を決め、終わり次第テーブル等を片付け広いスペースを確保し体を動かせるようにしています。	安全に考慮し、広いスペースで行える活動を考え取り入れております。感覚遊び、バランス運動、日常生活動作など育んでいけるよう工夫していきます。
2	野外での活動を行いたくさんの経験できるようにしている	公園、いちご狩り、動物との触れ合いなどを取り入れ、公共のマナーを学び様々な経験ができるようにしている。	職員が交代で計画しているが、いずれは子どもたちと話し合いながら計画が立てられるような機会をつくってきたい。
3	個々の特性に合わせたSSTプログラムを日々の活動に取り入れながら取り組んでいる。	個別支援計画に沿ったSSTを取り組むことができるよう日々の活動プログラムを考えている。1年生から5年生までの子どもたちの関りを増やしコミュニケーションの練習を兼ねた活動や協力型の集団活動をおこなっている。	職員みんなが意見やアイデアを出しやすい環境設定を行い、話し合いの機会を増やしていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	災害時、緊急時の対応、安全確保の取り組みについて保護者の皆様への周知が弱い	避難訓練等、災害や緊急時の対応マニュアルは整備しているが保護者への情報としてきちんと伝わっていない状況が課題の要因と考えられる。	連絡帳やアニマート通信の他に周知していただけるような方法を検討し行っていきたい。
2	家族支援プログラム（ペアレントトレーニング）の提供	保護者同士の交流や家族への支援が弱い。 年に一回開催しているが周知までには至っていないのが課題の要因と考えられる。	ご参加いただいた保護者の声をアニマート通信に掲載することで内容が理解できるのがないか？検討し取り組んでいきたい。
3	地域との交流	児童館、児童クラブとの交流や、地域の他の子どもと遊ぶことが容易ではないため、保護者の方々が望んでいない。 感染症などにも気を配る。	取り組みについて職員間で話し合い、保護者へ事前に通達し承諾を得ないといけない。個人情報の配慮面から慎重に進めていく必要がある。